

平成28年度 議会報告会を開催

興部町議会報告会(意見交換会)



興部町議会では、4月26、27日に、町内2会場において、議会報告会・意見交換会を開催しました。議会の活動及び平成28年度予算事業概要を報告し、意見交換会において、大変貴重な意見・要望・提言を頂きました。その質問とお答えした内容をお知らせいたします。

住民参加の議会に

町民の皆さまには、日頃より町政の発展はもとより、町議会に対しまして暖かいご理解、ご協力を頂き深く感謝申し上げます。

本年も議会活動の一つとして、町民の皆さま方と議会報告会・意見交換会を開催しました。議会から一年間の活動内容や新年度の町の主な事業等について、資料を作成し報告させていただきました。参加された多くの皆さまから、議会活動や町政に対して多数のご意見、要望が出されました。皆さま方の意見、要望などは、今後の議会活動の中で町政に反映させ、実現できるよう努めてまいります。

また、議会は、昨年議会改革特別委員会を設置し「住民が参加しやすい開かれた議会」を目指して検討しているところであり、議会基本条例や議員政治倫理の制定について、町民が中心となる開かれた議会とするための議論をしているところです。

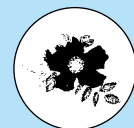
これからも、町民の代弁者として、皆さまの負託にしっかりと答えられるよう努めてまいりますので、なお一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

興部町議会

議長 山川 孝義

おこっぺ

議会だより



町の花ハマナス



町の木ナナカマド

平成28年7月15日

質疑応答・意見交換

総務 社会関係

問 小学生以下の子ども、高齢者の避難訓練についてどのように考えているか。

答 防災訓練（9月1日）では、保育所・幼稚園の児童園児も参加しており、また、高齢者についても、自治会を通して参加をお願いしている。平成27年に全面的な改訂を行った地域防災計画に基づき避難訓練を実施していく。

問 興部町では定住促進について対策をしているか。宇津鉄道跡地を移住希望者に無償提供しては？

答 産業振興による新たな雇用の創出や少子化対策としての子育て支援や他地域に暮らす人々に魅力を感じさせる生活環境の整備により、公営住宅等の住宅施策と合わせて、定住・移住を促進する。

また、宇津鉄道跡地の定住地の利用については、上下水道などの新たな住環境の整備も伴うため、現状では難しいと考えている。

問 ふるさと納税の件数と金額について。また、この財源の使い道は？

答 町の取り組みにご賛同いただける方より広く寄附金を受け付けており、本年2月よりインターネットを活用したPRにより寄附件数は急増している。※六つの事業への使い道を指定できる仕組みとなっており、頂いた寄附金を財源とする各事業については、現在の基金が増加した段階で検討していく。

【昨年度の寄附実績】

327件 894万円

- ※①生活基盤向上に関する事業
- ②産業振興に関する事業
- ③保健・医療・福祉の向上に関する事業
- ④教育・文化・スポーツの推進に関する事業
- ⑤生活環境の向上に関する事業
- ⑥協働によるまちづくりの推進に関する事業

問 国保病院の療養型病床を地域に合った介護施設に転換できないか？

答 地域に合った療養型病床として、長期療養が必要な患者のほか、在宅療養が困難な人に対しても受入れるなど、在宅介護との連携施設として役割を果たしているため、介護施設への転換は考えていません。

問 介護施設の展望について

答 介護には様々なニーズがあるため、複数の機能の施設があればよいが、本町は人口規模が小さいことから、小規模施設で最大限に介護支援が発揮できる施設を検討しているところです。

問 興部町に一番必要な介護施設は何ですか。

答 現在利用できる介護施設及び在宅サービスは、近隣施設の利用を含め、殆ど利用することができず、介護施設のショートステイが利用しにくくなってきたことから、ショートステイが利用できる施設が町内に今一番必要でないかと考えています。

問 今後、医療・地域・行政がどれだけ密着して進んでいくのか。どのように連携をとっていくのか。

答 医療連携については、国保病院では訪問診療による在宅医療の実施と、地域包括支援センターと毎月、要介護者や介護を必要とする患者に対し、在宅生活の継続又は在宅復帰に向けた支援についての在宅医療連携会議を行っており、必要に応じ介護事業所も参加するなど、今後も連携を深めていく体制にあります。地域の連携においては、自治会連合会や民生委員協議会などの福祉団体との連携をとっているほか、ボランティア団体の「地域づくりサポートの会」といった、住民主体の地域活動が行われており、その活動の支援として地域包括支援センターがサポートし、また、行政としては、その活動費用の一部を助成するなどの役割を担っています。

問 （国保病院の）療養病床を老健に変更できないか。変更した部分の補助金はどうなるのか。

答 現在の療養病床は、医療と在宅介護との連携した役割を担っているため、変更すべきでないと考えています。

問 認可型老人ホームが必要では？

答 各地で有料老人ホーム等の設置が進められていますが、入居に係る費用が月に十

数万円かかる場合が多く、国民年金受給者等には負担が大きくなります。また、介護付き有料老人ホームでは、要介護度が高くなると十分な介護を提供できない場合があり、介護保険施設等に転居するケースもありますので、現状では難しいと考えています。

問 興部町に介護度の高い人の入所施設がない事が問題では？

答 本町に特別養護老人ホームはありませんが、入所希望者は西興部村をはじめ西紋地域の特別養護老人ホームに入所されています。施設入所待機者については、早急に入所したい人はそれほど待つことなく入所できており、また、入所を早急にしたいと考えている人は少ないのが現状であります。

問 税金滞納者の金額、件数、収納対策は？

答 平成27年度の会計に繰り越した滞納額は、町税では2千437万6千619円、内訳は町民税1千377万9千792円（98件）、固定資産税1千54万7千427円（44件）、軽自動車税4万9千400円（9件）です。国保税は2千565万9千694円（89



旧宇津小学校

問 廃校後、不使用の教員住宅を払い下げられる考えはないか？ 払下げできれば、改修して住みやすくなると思うが、率先して対策すべきでは？

答 廃校地区の教職員住宅については、今後とも教職員の入居は無いので賃貸している。町の普通財産に所管替えの上、処分について検討を進めます。

問 廃校後、不利用の教員住宅を払い下げられる考えはないか？ 払下げできれば、改修して住みやすくなると思うが、率先して対策すべきでは？

答 廃校地区の教職員住宅については、今後とも教職員の入居は無いので賃貸している。町の普通財産に所管替えの上、処分について検討を進めます。

問 廃校利用として、旧宇津小学校を産業のシンボルとして工場にすると考えては？ チーズ工房にし、観光客が見学できるようにしてはどうか。興部をアピールすることが大事では？

答 廃校施設の利用にあたっては、補助金の関係上処分制限期間中の取扱に制限があること。また、施設の一部を団体使用している。耐震の施設基準等を満たしていない。

問 救急車を呼んだ場合、かかりつけ病院があっても直接搬送してくれないのか。また、直接行ける方法はないのか。

答 紋別市内の病院は、平日の日中は受入可能となっているため、かかりつけ病院への搬送も可能です。夜間、休日については、病院側の救急受入体制が確保できない等の理由により、紋別市以外の救急受入をしていないので、かかりつけであっても搬送できません。ただし、患者さんや家族からかかりつけ病院に連絡し、医師から「救急車で来てください」との指示があれば搬送可能となります。

問 広域紋別病院（整形外科）へ受診したが、興部国保病院の診断書か紹介状が必要と言われた。そのようなシステムがあるのか。

答 整形外科については、完全予約制のため、初診の場合はあらかじめ予約をしてからの受診となります。他院に通院している方で広域紋別病院を受診される場合は、迅速な診断を行うために「診断書」または「紹介状」を提出いただく、当日受診することができません。また、本年7月25日からは常勤医が勤務しますので、平日は毎日診療が可能となります。

問 空き家対策について、町はビジョンを持っているか。どのような町にしたいのか。どのようないかに示してほしい。

答 現在、空き家の利活用については、興部町空き家・空き地情報バンク設置要綱に基づき、北海道とも連携しながら、町ホームページ上で照会を行っているが、現状では利用登録も少なく、個人間でのやり取りも少ない状況にある。今後は、空き店舗の利活用も含めた対応を検討している。

問 北海道のオホーツク地方は地震がない。これを利した企業誘致について検討しては？

答 「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づき、危険な状況にある家屋の調査を実施したが、現在、所有者及び相

問 大企業については、誘致する産業種類にもよるが、インフラの整備、流通や環境問題などにより難しいものと考えている。現在、企業促進条例があり、今後の対応としては、中小企業等をターゲットとした規定の見直しを図るなど、起業の促進を図っていきたい。

問 宿泊を伴う研修の誘致をどうするか。

答 当町では、大人数が宿泊できる公的な施設がなく、既存の旅館等については定期的に工業者等の方の連泊滞在と重なるため、現状の宿泊施設での対応は難しいと考えている。

問 興部町では大人数が多いため、まわって宿泊できる施設がない（公民館等ではお風呂の問題がある）。対策は？

答 新たにホテル等宿泊施設の整備となると需要や運営面でも難しいと考えている。

問 強風により倒壊しそうな廃屋が一戸あり、隣の家に被害が出るのではと心配している。何か対策はないか。

答 危険家屋等については、「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づき、危険な状況にある家屋の調査を実施したが、現在、所有者及び相

問 現在、空き家の利活用については、興部町空き家・空き地情報バンク設置要綱に基づき、北海道とも連携しながら、町ホームページ上で照会を行っているが、現状では利用登録も少なく、個人間でのやり取りも少ない状況にある。今後は、空き店舗の利活用も含めた対応を検討している。

問 北海道のオホーツク地方は地震がない。これを利した企業誘致について検討しては？

答 「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づき、危険な状況にある家屋の調査を実施したが、現在、所有者及び相

続者を調査している段階であり、所有者が死亡等に起因した不明なケースは、町として代執行を含めて検討していききたいと考えている。

問

興部町の町を通るときシヤッターが降りたままのところが多い。若い人達に魅力ある町づくりを検討いただき、昔の賑わいのある商店街にしてほしい。

答

新たな小売店等の進出による商店街の再興は現実的に非常に難しいと考えるが、商工会や店舗所有者のご協力を受けながら、空き店舗を店舗以外のスペースとして有効活用するなどの検討も進めながら、人の往来を生む賑わいづくりに取り組みたいと考えている。

問

水源の確保についてどのように考えているのか。

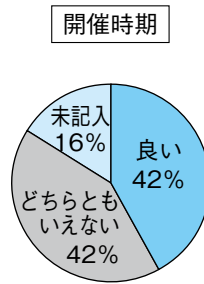
答

宇津水源については、第一水源の宇津川が濁水等の緊急時の場合は、第二水源の興部川より全量取水ができるよう、平成20年度に導水ポンプを増設し水量確保対策を行っている。又豊野、住吉水源については過去に濁水になったことは無いが、緊急の場合には近傍に代替水源となる河川等が無い為、タンク車等による運搬を考えている。

報告会アンケート結果

当日アンケート調査を実施し、皆様より貴重なご意見をいただいております。ご協力ありがとうございました。

Q. 今回の報告会をどう感じましたか。



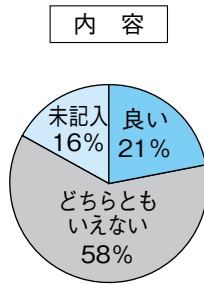
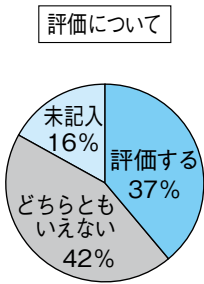
評価する理由

- 意見を聞いてくれるような会だと思う。
- 内容を理解しました。
- とても丁寧な説明していただいた。

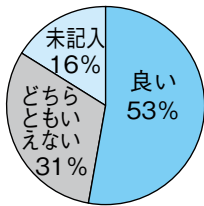
どちらともいえない理由

- 詳細な事業説明は不要。
- 議会広報にて後日回答を期待します。町民も議会を傍聴されるよう期待します。
- 初めて出席させていただきました。意外に意見が出ているものなのだと知りました。
- 各議員さんの信条や町政に対する意見などをお伺いしたかったです。

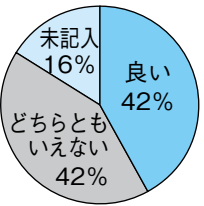
Q. 議会報告会の評価についてお尋ねします



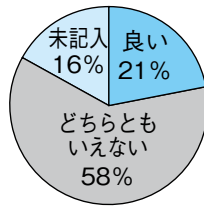
時間帯



開催時期



内容



編集後記

短い北海道の夏到来です。今年はおリンピックイヤー、世界各国で繰り返されるテロ事件、猛威を振るう自然災害の中、8月にブラジルのリオデジャネイロで第31回夏季オリンピックが開催されま



沙留会場



興部会場

す。南米大陸で初めての平和の祭典が無事成功し、東京都知事の辞職が4年後の東京オリンピックに影響を及ぼさないことを祈るばかりです。

昨年は町議会議員選挙の為、2年ぶりの開催となった議会報告会に多くの皆様に出席頂き、ありがとうございました。これからも、皆様の声を聴く大事な機会として、続けていきますので、宜しくお願いします。

7月17日が「北海道の日」として制定されるようです。道立施設の無料開放などイベントを予定しているようです。道民として、北海道を考える日が年に一度あつてもいいように思います。

(記) 広報特別委員会

委員長 藤渡 昭博

広報委員長 藤渡 昭博
副委員長 松川 雄一

委員 阿部 昭一

委員 佐藤 吉春

議会事務局員 竹内 清

議会事務局長 日下 学
議会事務局主査 八木 実央